ノーベル賞に水を差すようですが…

京都の斎藤さんから

ところで突然ですが、今度のノーベル物理学賞を「ブルーライト発見者に授与」というの、どう思いますか？

私はとても意図的なものを感じて怒りさえ覚えました。今、ＬＥＤやスマホなどのブルーライトの健康被害問題が表沙汰になって、ブルーライト研究会が日本でも活動、世界ブルーライト研究会でも研究集会が開かれて、ＮＨＫですら視神経細胞の死滅などの報道したのに、これでＬＥＤの問題点が日本人の頭からすっ飛んでいくような気がします。電気産業界が動いたのですね。

ブルーライトが目に悪影響　しくみ解明

（*NHK ニュース web*　7 月 23 日）

http://www3.nhk.or.jp/lnews/gifu/3083180951.html?t=1406086556000

※NHK ローカルニュースは元記事が消えるのが早いので御注意を

スマートフォンなどの画面から出る青い光＝ブルーライトが目の細胞に強いストレスを与えて細胞を死滅させることがわかり、目に悪影響を与える仕組みが明らかになりました。

これは岐阜薬科大学の原英彰教授らのグループによる研究で明らかになったものです。

研究では、スマートフォンの画面などに使われるＬＥＤ＝発光ダイオードから出る青・緑・白の3 色の光を6 時間ずつマウスの目の細胞にあてたところ
▼緑を光をあてた細胞はあまり変化がなかった一方
▼白はおよそ7 0 パーセントの細胞が
▼青はおよそ8 0 パーセントの細胞が死滅したということです。

またこれらの細胞を詳しく調べると、老化を進める活性酸素が
▼緑の光を当てた細胞で通常の1 ． 5 倍に増加したほか
▼白が2 倍
▼青が3 倍に増えたということです。

ブルーライトは、これまでも目の機能を低下させると指摘されてきましたが、 研究グループではブルーライトが活性酸素を急激に増やして細胞を 死滅させるという仕組みが新たに解明されたとしています。

原教授は「今回の研究でスマートフォンなどのブルーライト対策が進むことを期待したい」と話しています。